

第 2 回 幹事会レポート

日 時 2011 年 3 月 5 日 14:00～17:00

会 場 昭和音楽大学北校舎 3F 会議室

出席者 柳田、吉田、出田、阿方、小倉

審議事項

1. 第 7 回大会

第 7 回大会の日程と会場および実行委員が以下のように提案され、了承された。

と き:2011 年 11 月 12 日(土) 10:30～18:00

ところ:東京学芸大学 芸術館 音楽棟

実行委員:中地雅之(委員長)、学芸大 2 名、小倉 隆一郎、田中 功一、森下絹代、
阿方 俊、生頼俊秀

大会当日のスケジュールと概要(案)が提示され検討の結果、以下のように決定した。

10:00 受付 芸術館ロビー

10:30 あいさつ 学芸大関係者、柳田学会代表、APEKA(Asia-Pacific Electronic Keyboard Association アジア・パシフィック電子キーボード協会)^{注-1}関係者(上記の日程で来日できるか早急に打診する)

10:50 基調講演 郭宗愷氏(台湾・東海大学)

11:30 総会

12:00 昼食 この時間の有効活用としてランチタイムミーティングを企画する。
森松(電子オルガン) 酒井(学生)など

13:00 パネルディスカッション 電子オルガン関連&ML 関連 APEKA 会員が来日する場合、発言の機会を考慮したい。 ML 関連ではワークショップも視野に入れて検討する。

生涯学習関連のラウンドテーブルを予定している。

15:00 研究発表 12 件の発表が望ましい。APEKA 会員の発表要請があった場合、通訳と発表時間の問題について検討を要す。

17:00 研究コンサート Prof. Plage 参加による電子キーボード・アンサンブルを予定している。

18:00 懇親会 20 世紀記念館

詳細は次回幹事会で継続審議する。

注 - 1 APEKA(Asia-Pacific Electronic Keyboard Association)の設立大会が 2 月 7～9 日、香港で開催され、中国の電子オルガンの先生方から第 7 回全国大会へ参加希望者が出た。

2. 学会ホームページについて

阿方幹事より学会ホームページに関する報告があった。

(1)3月4日に新ドメインによるサイトを立ち上げた。<http://jsekm.jp/>

(2)国際化への対応

英語による「学会紹介」「Voice of JSEKM」のページは既にアップした。

加えて中国語によるページを作成するため、中国語の翻訳内容案を提示する。

(3)学会メールによる活性化

今後、ニュースレターのメールによる配信やメール・ニュース(マガジン)によるタイムリーな情報提供をめざしたい。

上の3点について討議の結果、①旧ドメイン(OCN)は当分の間、現在のものと併設し、その後、新ドメイン(JSEKM)に一本化する ②翻訳内容案をベースに早急に中国語のページをアップする ③会員へのメール配信の準備をすすめることを了承した。

報告事項

1. 学会の国際化 ～APEKA およびインターナショナルな動き～

(1)イーストマン音楽学校のマユミ・マツツェン氏が6月に来日する。

同氏はM.L.の専門家であり、ワークショップ(内容例: イーストマン音楽学校のM.L.、M.L.テキストによるレッスン等)の可能性を打診したい。

(2)APEKA(Asia-Pacific Electronic Keyboard Association)

2月7日～9日、香港で開催されたAPEKA設立大会に参加した阿方幹事より、大会の内容が報告された。

①主な内容は、研究発表と電子オルガンコンペティション

②APEKAコンペティションは、中国におけるメーカー以外の主催であることに意義がある。

③第7回大会へのAPEKA関係者の参加呼びかけに関し、先方へ打診したい。

(3)韓国室内オペラフェスティバルフォーラム(4/3)及び台湾・東海大学ファカルティコンサート(5/19)に関する概要が説明された。

2. 次回の幹事会日程について

検討の結果、6月4日(土)を第一候補とし、本日欠席の幹事に打診の上、前後の土曜日も含めて調整することに決定した。

(文責:小倉 隆一郎)